



# FY2021 修正予算

富山維新  
- J2 復帰 -

## 要旨

- 【収入】 今期5か月が経過した時点で、チームが好調なことや地域との距離を縮める各種施策が興行・スポンサー料・グッズ等の収入面でプラスに作用している実勢を踏まえ、**大幅な収益の上方修正 [573→626百万円 (+53百万円/+9%) ]** を行い、**J 3 降格後初の 6 億円突破** とした。今後とも、これまでのフロントハードワーク姿勢を貫き修正予算の早期達成を目指す
- 【費用】 今後、予想される J 2 復帰争いに備えた**適切な戦力補強(3名)**、現在の高負荷勤務抑制および将来の事業規模拡大に備えた**間接部隊増員(営業・広報/2名)の費用増に上記増収分を充当**している
- 【収支】 結果、損益は当初予算のブレイクイーブンに対して**+5百万円の増収増益** とした

## 修正予算の考え方

[単位：百万円]

### 1. 収益

#### (1) スポンサー料収入

営業部隊の増員を図り、これまで取り切れていなかった新規や離脱した法人への営業強化により、本年6月末時点の成約額がすでに前年度実績を超えたことから**J 3 降格後、最高額\*となる400百万円(+10百万円)**の上方修正とした

※ 第2位：FY2020 382百万円

なお、現在、営業中の J 2 復帰祈願スポンサーの進捗状況ならびに通常オフィシャルスポンサーの高速ピッチから現時点で396百万円の成約を確定しており、第3四半期までには修正予算を達成する見込み

注) J 2 復帰に伴う褒賞スポンサーの協賛増は含んでいない

#### (2) 入場料収入

平均入場者実績は当初予算1,227→2,422人/試合と倍増し、ホーム興行43% (6/14試合) を消化した時点でほぼ当初予算を達成した。加えて今後の集客対策や J 2 復帰争いでの集客増を踏まえ、残り8試合の平均入場者数を3,000人/試合に設定し**40百万円(+21百万円)**の上方修正とした

#### (3) グッズ収入

6月末時点で当初予算の65%となっている実勢に加え、売上の2/3を占める興行での平均入場者数が倍増していること、サマーユニホーム、J 2 復帰祈願グッズ等の商品追加の施策で大幅な売上増を織込み**30百万円(+10百万円)**の上方修正とした 注) J2復帰に伴う記念グッズによる収益増加は含んでいない

#### (4) その他

選手2名の移籍に伴う違約金および連帯貢献金等の計画外収入を織込み**42百万円(+12百万円)**とした

### 2. 費用

#### (1) チーム人件費

J 2 復帰の確度を上げるため、外国人FWをはじめとする戦力補強と選手のモチベーションアップに繋がる勝利給増額を図り、**J 3 降格後、最高額\*となる247百万円(+22百万円)**とした ※ 第2位：FY2019 200百万円

#### (2) 試合運営費

入場者数の増加に伴う警備・イベントスタッフの増員に伴う委託費増により**38百万円(+7百万円)**とした

#### (3) グッズ製作費

グッズ売上増に伴う製作コスト増により**18百万円(+3百万円)**とした

#### (4) 一般管理費

収益の柱となるスポンサー営業および発信力強化を目的とした広報の中途採用コスト(+2名)、J 2 復帰に向けハードワークしてきた社員に報いる臨時ボーナス等を織込み、**129百万円(+13百万円)**とした

	FY2020 決算 A	FY2021 当初予算 B	FY2021 修正予算 C	対FY2021 当初予算 C-B (C/B)	対FY2020 決算 C-A (C/A)	FY2021 修正予算の 規模順位 (J3降格以降)
スポンサー等収入	382	390	400	+10 (103%)	+18 (105%)	1位
入場料収入	22	19	40	+21 (212%)	+17 (179%)	2位 ※1位: 2015 47百万円
Jリーグ分配金	36	34	34	+0 (100%)	▲2 (93%)	2位
アカデミー関連収入	51	81	80	▲1 (99%)	+29 (158%)	1位
物販収入	21	20	30	+10 (150%)	+9 (143%)	1位
その他収入	35	30	42	+12 (142%)	+7 (119%)	1位
収入合計 A	548	573	626	+53 (109%)	+78 (114%)	1位
チーム人件費	180	225	247	+22 (110%)	+67 (137%)	1位
試合関連経費	37	31	38	+7 (121%)	+0 (101%)	3位
トップチーム運営経費	76	80	80	▲0 (99%)	+3 (104%)	5位
アカデミー運営経費	22	53	52	▲1 (98%)	+30 (234%)	1位
販売費	51	48	52	+5 (110%)	+1 (102%)	1位
グッズ製作費	14	15	18	+3 (122%)	+4 (128%)	1位
一般管理費	114	116	129	+13 (111%)	+15 (113%)	1位
減価償却費	3	5	5	+0 (100%)	+2 (151%)	1位
費用計 B	499	573	621	+48 (108%)	+122 (124%)	1位
収支 (A-B)	49	-	+5	+5	▲44 (10%)	